令和8年度(2026年度)

進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第95号

令和8年(2026年)11月19日

☆**専修学校クラーク高等学院札幌大通校**(中央区大通東8)☆
☆**クラーク記念国際高等学校札幌白石キャンパス**(白石区平和通2丁目北)☆
全員にチラシを配付します。
「学校説明会」(11月21日(土)・12月12日(土)開催)につきましては、個人申込をお願いいたします。

★後期中間テスト★
明日20日(金)、後期中間テストを実施します。
社会→理科→英語→国語→(給食)→数学の順です。
３年生の皆さんが、テスト終了後も、希望進路実現のために、睡眠時間を決して削ることのない、限られた時間を有効に使う方法を追い求め続け、日々健康第一で過ごすことを願っています。

★学年PTA集会＆公立高校自己推薦入試における「自己推薦書」★
16日(月)の集会で、進路について、係より少し話をさせていただきました。
すべての御家庭に、集会資料をすぐーるにて過日配信しておりますので、御確認をお願い申し上げます。
なお、集会時にも申し上げましたが、公立高校自己推薦受検者が作成する「自己推薦書」が、自己推薦入試導入５年目にして初めて、Wordではなく、ChromebookのGoogleドキュメントでも作成できるようになりました。
来週、該当生徒には個別に、書面にて詳細をお知らせいたします。

★第５回(最終)進路希望調査★
明日20日(金)を提出期限とさせていただいております。期限厳守でお願い申し上げます。
すでに御提出いただいている調査用紙で、最下段の「特別な配慮の有無」に関するチェック漏れが若干ございます。一度返却し、再提出をお願いしているところです。
明日御提出の御家庭は、今一度御確認をお願いいたします。
さて、調査用紙に御記入いただいたコメントで、早めに共有したいことを３点お知らせいたします。

Q　Web出願手続が確実に完了したのか確認できるのでしょうか。不安があります。

A　公立高校の願書は、自己推薦・一般を問わず、そして、道立・市立を問わず、印刷をして本校に提出していただきますので、印刷ができた＝Web出願手続が完了している、ということですので、不安はないと思われます。
私立高校は、当校の募集要項やWebサイトに掲載されている、Web出願手続ガイドなるものをお読みいただきながら、手続をしていただき、クレジットカード決済やコンビニエンスストアでの支払等で受験料の納入までお済ませいただきますと、受付完了のお知らせがE-mailで届く、または当校のWebシステム上で受付が完了したことを確認できるようになる、という流れになっているので、御安心ください。
現中学校３年生の私立高校受験は、昨年度までと異なり、願書を印刷して提出する高校と、印刷不要の高校が混在しています(進路だより第93号参照)。公立高校同様、印刷する(できる)と出願手続が完了していることが一目瞭然ですが、半数以上の私立高校は印刷不要…。
いえ、御安心ください。本校生徒の、札幌圏すべての私立高校への出願状況を、パスワードや本人認証で厳重に管理されているサイトで係が随時確認できるのです。「明日が締切なのに、Web出願手続をまだ済ませていない生徒がいる！」ということは絶対にないと思いますが、そんな時は、御家庭と本校で連携を図ります。大丈夫です。

Q　道立高校Web出願手続シミュレーションの体験期間は、11月27日(金)までです。写真データのアップがまだできません。先日撮影した進路写真の「ダウンロードカード」は、それまでに間に合いますか。

A　間に合う予定です。恐れ入りますが、今しばらくお待ちください。
万一、間に合わない時は、「お手元の何かしらの写真データをアップする」体験だけお願いいたします。本来の出願ではありませんので、風景写真等でも構いません。

Q　私立高校の「専願」受験とは、第一希望という意思表示の出願ですね。「単願」受験は他校への出願不可、と募集要項に記載されている高校もありますが、「専願」受験とは、他校への出願が必須ですか。

A　いいえ、その私立高校のみ、１校のみの出願でも構いません。
そもそも、私立高校によって、「単願」＆「一般」を実施、「専願」＆「一般」を実施、という違いがあります。「１月受験＝第一希望の意思表示をした受験」と御理解ください。ただし、これまで説明してきました、１月実施の札幌日大高校・自己推薦Ⅲは例外です。
なお、１月受験で合格→入学手続(ほとんどの高校で２月上旬)を完了する→それ以降は他校(公立高校一般入試等)の受験は不可＝「受検欠席届」を提出、となります。
札幌第一高校のように、１月受験で合格→同校に入学するならば３月の公立高校一般入試を受検しても構わない、という理解ができる入学手続日を設定している場合もあります。各私立高校Webサイトで募集要項を改めて御確認ください。なお、全御家庭に、出願校の募集要項(冊子)を、11月30日(月)までには配付いたします。

受験に絶対はないのですが…、とこれまでお知らせしてきましたことを、再確認させていただきます。
どうして私立高校１校のみに出願する１月受験が成り立つのか、公立高校が第一希望で、第二・第三希望としての私立高校２月受験はなぜ合格が見込めるのか、という疑問は、もうおもちではないことと存じます。
私立高校が第一希望の場合も、１月受験を義務づけられている訳ではありません。公立高校に合格した場合は「入学辞退届」を提出すればよい訳ですから、私立高校２月受験と公立高校一般受検をし、私立高校へ入学する、は可能です。繰り返しになりますが、多くの私立高校では、１月受験に合格し入学手続を済ませた後は、公立高校に出願していても受検ができない、と御理解ください。